

## ＜ 年 表 ＞

西暦	和暦	社会の動きと水産に関わるできごと	小谷源之助・仲治郎に関わるできごと
1845	弘化元		安房郡根本村名主・森惣右衛門家に大吉 出生 (後に金澤屋の長女・小谷たよの婿養子となり、四代目清三郎を継ぐ)
1849	嘉永元		根本村の海産物問屋金澤屋の長女・たよ 出生
1867	慶應 3		小谷清三郎・たよの長男・源之助 出生 (1月)
1872	明治 5		小谷清三郎・たよの二男・仲治郎 出生 (7月)
1873	M6	関澤明清、ウィーン万博に参加	
1874	M7		源之助、根本小学校入学
1875	M8	関澤明清、フィラデルフィア万博に参加	
1878	M11	増田萬吉、根本村沖で器械潜水によりアワビ漁試験操業を実施 (4～7月) (出資者のひとり森惣右衛門の弟が後の小谷清三郎)	
1879	M12		仲治郎、根本小学校入学
1880	M13		源之助、慶応義塾幼稚舎 (和田塾) 入塾
1881	M14	七浦村千田、器械潜水採鮑開始	
1882	M15	布良村、器械潜水採鮑開始 中国人排斥法	
1883	M16	増田萬吉、千葉県人・鈴木与助以下 37 人を真珠貝採取のため、日本政府の許可を得て豪州に 2 年間派遣 (10月)	清三郎、農商務省主催第 1 回水産博覧会で「乾鮑」褒章 源之助、商法学校入学
1885	M18	日本政府、ハワイへの契約移民 (2月)	
1886	M19	千葉県、器械採鮑取締規則公布	清三郎、大日本水産会主催の共進会で 1 等賞受賞
1888	M21	大日本水産会水産伝習所創立 (後の水産講習所・東京水産大学・東京海洋大学)	源之助、東京学館商用簿記学校入学 仲治郎、佐野英語学校に在学 (1～12月)
1889	M22	関澤明清、大日本水産会水産伝習所長	
1890	M23	水産実習所長の関澤明清より布良の小谷喜録に、実習指導の礼状と「日本重要水産動植物之図」が贈られる (9月)	清三郎、第 3 回内国勸業博覧会で「明鮑」褒章 水産伝習所の白浜実習で指導支援 仲治郎、大日本水産会水産伝習所予科入学 その後本科へ進学
1891	M24		仲治郎、水産伝習所本科第 3 回卒業 (9月)
1892	M25	関澤明清、農商務省退官。館山に移住し、関澤水産製造所設立、捕鯨他の漁労開始	源之助、佐渡・鷲崎内茂裏で鮑製造所設置 仲治郎、伝習所教員の岡村金太郎の依頼で、長尾村根本での海藻調査に協力
1893	M26	佐渡水産会、源之助の協力で安房の漁師 (金澤屋からの依頼) らに「模範漁業」関澤明清、館山から出漁し、日本人初のマッコウクジラ捕獲 (5月)	仲治郎、七浦村千田・平野美わと結婚、養子となり平野姓を名乗る (1月)
1894	M27	日清戦争	
1895	M28	野田音三郎、森林伐採・薪切りのためワッソンビルからモントレイに赴く	清三郎、第 4 回内国勸業博覧会で「明鮑」褒章
1896	M29	野田音三郎、採鮑業の有望性に着目、日本の農商務省に水産の専門家派遣を要請	仲治郎、長男・義雄 誕生
1897	M30	関澤明清逝去 (1月) 七浦村千田で大火 (1月) 水産伝習所が官立水産講習所となる	仲治郎、平野家から離縁し夫婦で小谷姓に戻る 源之助 (30 歳)、先発で単身渡米、調査開始 (9月) 仲治郎 (25 歳)、七浦村千田・平磯の海士 3 人とともに渡米 (12月)

1898	M31		小谷兄弟、ポイントロボスで素潜りの採鮑により乾鮑製造を開始。海水温が低いと、後に器械潜水による採鮑に変更。仲治郎、二男・徹 誕生 七浦村千田のダイバー3人渡米（9月） A・M・アーレン、ホエラズ湾地域をカメルラ ンド&コール会社から購入（64エーカー）
1899	M32		渡米中の源之助、婚姻届けを出し、新潟県佐渡の田中リンと結婚（9月）
1900	M33	ポイントロボスの海域でUCバークレー校によるケルプ・海洋生物調査に小谷兄弟が協力。	七浦村千田・平磯からアワビ漁業者7人渡米（2月） 小谷兄弟、ホエラズ湾地域に糸杉の苗を植林して自然保護に取り組む
1901	M34	漁獲アワビの大きさ規制 水産講習所館山実習場開設	源之助、日本へ一時帰国（妻リン病気のため）
1902	M35	増田萬吉逝去（4月）	小谷兄弟とA・M・アーレンの協働でポイントロボス缶詰会社設立（同社の取扱量はカリフォルニア州アワビ市場の75%を占めた） 源之助の先妻リン逝去（9月） 源之助、鴨川町横渚・田代ふくと再婚（12月）
1903	M36		源之助、単身再渡米（3月）長男・英雄 誕生
1904	M37	日露戦争	源之助の妻ふく、長男・英雄と渡米 A・M・アーレンの尽力で無事入国（8月）
1905	M38	「サンフランシスコ・クロニクル」紙で反日キャンペーン（2月） 「アジア人排斥同盟」サンフランシスコで結成（5月）	
1906	M39	サンフランシスコ地震（4月）	七浦村千田からアワビ漁業者1人渡米（11月） 仲治郎、日本に帰国（11月）。七浦村千田に居住し、源之助が管理運営するダイバーとして渡米を援助
1907	M40	日本人、ハワイ等から転航移民禁止（2月） A・M・アーレンの妻サティ、逝去（2月）	七浦村千田からアワビ漁業者1人渡米（2月） 長性寺でA・M・アーレンの妻サティの追悼法要 白浜沖で米国船ダコダ号座礁し救助活動。仲治郎が乗船客との通訳をしたといわれる（3月）
1908	M41	日米紳士協約で日本人移民制限（3月）	農商務省海外実業練習生・椎原廣男、源之助からアワビ事業の聞き取り調査をして報告書提出（7月）
1909	M42	漁獲アワビの大きさ規制強化	
1910	M43		清三郎、逝去（7月）
1911	M44		仲治郎の妹ひで、倉田白羊と結婚（7月）
1913	大正2		仲治郎、七浦村千田漁業組合長に就任
		カリフォルニア州議会で外国人土地所有禁止法（8月）	スライス加工のアワビ商品化
1914	T3	第一次世界大戦	仲治郎、千田の居宅新築
1915	T4	乾鮑製造禁止	
1917	T6		カリフォルニア州内のアワビ缶詰工場は5工場 アワビ調理人ポップ・アーネストがサンフランシスコからモンレーに移る 仲治郎、千葉県水産会評議員を務める
1919	T8		仲治郎の長男・平野義雄渡米。岡本一平、器械潜水の体験や仲治郎の米国でのアワビ事業を朝日新聞の連載「海の底へ」で紹介（7月）
1920	T9	写真花嫁への旅券不交付（2月） カリフォルニア州議会で外国人新土地法（12月）	

1922	T11	安房水産学校設立、帝国水産会発足	仲治郎、七浦尋常小学校の学務委員就任 (12月)
1923	T12	関東大震災 (9月)	
1924	T13	アメリカ議会で排日移民法 (5月)	仲治郎の二男・徹渡米。 源之助、「オーシャンクイーン号」購入
1925	T14		朝香宮夫妻がポイントロボス訪問 (11月)
1927	昭和2	親善人形使節「青い目の人形」(約12,000体) 横浜港に到着 (1月)	
1929	S4	株価の大暴落で世界恐慌 (10月)	
1930	S5		A・M・アーレン、逝去 (1月) 千倉町千田・長性寺でアーレンの追悼法要 (4月) 小谷源之助、逝去 (7月)
1931	S6		高松宮夫妻がポイントロボス訪問 (5月) 竹久夢二が小谷ゲストハウスに滞在 (8~11月) 尾崎行雄、娘2人(品江・雪香)とポイントロボスの小谷ゲストハウス訪問 (9月) ポイントロボス缶詰会社閉鎖
1933	S8		仲治郎、安房郡水産会長就任 (4月)
1941	S16	太平洋戦争 (12月)	
1942	S17	大統領行政命令 9066号により日系人の強制立ち退き (2月)	小谷ふく、三男セイゾー(省三)、高橋源之助らアリゾナ州ボストン強制収容所に収容 (5月)
1943	S18		仲治郎、逝去 (4月) 七浦国民学校において安房郡水産会・千田漁業組合による仲治郎の合同葬 (4月)
1945	S20	終戦 (9月) 日系人強制収容所閉鎖 (10-11月)	館山市に米占領軍上陸、本土唯一の直接軍政 (9月) 日系人、収容所から帰還
1952	S27	日本人への帰化権許可 (6月)	小谷ふく、逝去 (1月)
1964	S39		カリフォルニア州水産局技師キース・コック来日 仲治郎の長男・義雄の妻平野まつ宅訪問 (12月)
1988	S63	レーガン大統領、日系人強制収容に関し公式に謝罪 (8月)	
1994	平成6	ポイントロボスで記念式典、住居跡地を「コダニ・ビレッジ」と命名 (8月)	
2005	H17	館山市・南総文化ホールで「虹のかけ橋〜ウミホテルとアワビが結ぶ日米交流」開催 (9月) サンディ・ライドン教授とモントレイ市民ら40名来日	
2006	H18	アワビの祭典『コンバージェンス2006』モントレイで開催、千倉町千田の栗原家からアワビ万祝を寄贈 (4月)	
2007	H19	源之助の四男ユージン・コダニと三世キミ・コダニが来日 (6月) 「日米の架け橋となったアワビ漁師と画家〜小谷源之助・仲治郎と小圃千浦の足跡をたどる」	
2013	H25	JACLモントレイ半島支部の依頼で、アワビ万祝のレプリカを鈴染(鴨川市)が制作	
2017	H29	仲治郎の旧宅(南房総市千倉町千田)を解体、襖の下張りから大量の古文書を発見⇒解説調査	
2019	令和元	房総半島台風で被災、古文書は水没⇒レスキューし原状回復して分類調査を再開 (南房総市まちづくり補助金2019~21) / モントレイ市民から被災義援金を贈られる	
2020	R2	カリフォルニア森林火災義援金を安房の市民からモントレイに贈る	
2022	R4	日米オンライン古文書調査報告会 (2月)	
2023	R5	源之助の三世ミア・コダニ夫妻と四世アリエル・ステネックらが来日 館山で交流 (4月) 溝口・高橋・池田が訪米、JACLモントレイホールで講演 (8月)	
2025	R7	文化庁事業(和歌山移民研究を軸とした国際交流事業実行委員会) 館山・南房総・紀南・和歌山を巡検調査・交流、四世エヴァン・コダニら来日 (9月) 米国モントレイ・ロサンゼルスを巡検調査・交流 (10月)	
2026	R8	移民と美術をめぐる日米オンラインシンポジウム「アンダーカレント」(1月) 展覧会「舫う移民—紀州、房州、モントレイを結ぶ海の物語」館山・太地 (2月) シンポジウム「移民がつなぐ太平洋まるごと博物館〜紀州と房州とカリフォルニア〜」館山 (2月) / 和歌山と千葉安房の歴史教育オンライン交流会 (2月)	